

令和6年度の森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業総額（円）			事業内容	実績	税導入の効果
			うち 森林環境譲与税 （円）	うち他の財源 （円）			
人材育成・担い手	ふくい林業カレッジ 研修事業	19,600,377	16,420,711	3,179,666	将来の福井の林業を担う若い人材を育てるためのふくい林業カレッジの運営	・研修生4名を育成	【事業の成果】 県の森林環境譲与税は、林業カレッジや自伐型林業大学校の運営、林業事業体への支援など、林業の担い手確保・育成を中心に活用した。 令和6年度においては、林業カレッジの研修生3名を含め、年間の新規林業従事者数は、県の目標20名に対し、21名が就業した。 また、令和5年4月に開校した自伐型林業大学校には28名が入校し、山を保全して山村地域を支える貴重な人材を確保・育成した。 市町への支援事業としては、効率的な事業化の推進等を図り、より実務的な課題を解決するため、市町職員を対象とした研修会・相談会を開催し、指導・支援体制の強化を行った。
	林業担い手確保・定着事業	1,888,236	785,400	1,102,836	新規林業就業者の確保を図るため、林業事業体ガイドブックの改訂や林業カレッジと緑の雇用の1ターン研修生に対する支援を実施	・林業事業体ガイドブックの改訂 ・1ターン研修生2名、嶺南在住者1名への支援	
	林業従事者安全サポート事業	670,000	670,000		林業労働災害の予防のため、作業時の体の使い方や林業職業病について学習する安全講習会を実施	・参加者16名	
	「大きな林業」生産力強化事業	10,615,000	10,615,000		素材生産の拡大、再造林の効率化を図るための機械整備等や就業環境改善に対する支援を行うことにより、森林整備の担い手となる林業事業体を育成	・林業機械や木材運搬トラックなどの購入支援	
	県産材搬出機械化支援事業	15,400,000	15,400,000		高性能林業機械の自社保有が可能となる規模の生産量へと拡大を図るため、機械レンタル経費に支援	・林業事業体17社に支援	
	ふくいの林業スタートアップ事業（もり人づくり事業）	4,375,401	4,177,651	197,750	林業の普及啓発および技術習得に向けた研修会や体験会を開催	・小中学校や高校生、大学生等への森林林業体験会、DIY講座、特用林産物の現地研修会の開催等	
	がんばる自伐（小さな林業）応援事業	21,794,100	14,602,100	7,192,000	自伐林家や特用林産物生産者等が林業に取組みやすい環境づくりや自立に向けた活動に必要な経費に支援	・自伐型林業大学校への運営経費支援 ・自伐型林業団体が行うスキルアップ研修開催支援6団体 ・自伐型林業大学校卒業後の自伐活動支援 12名	
	森林・林業基本計画策定事業	650,845	650,845		現行の計画が計画期間を迎え、情勢の変化や時代の変化を見越した林業を推進するため、新たな計画を策定する検討委員会を設置、開催する。	・検討会の開催 3回	【市町の森林環境譲与税】 森林管理を進めるための意向調査や小規模な間伐、林道・作業道の維持管理など地域の実情に応じた森林整備が全市町で実施された。また、一部の市町では、木製玩具の配布などの木材利用や、植樹イベントの開催などの森林・林業普及啓発を行っている。
	県産材を活用したオフィス空間提案事業	5,319,000	1,844,000	3,475,000	木に親しみ触れ合い木の文化を学ぶ機会を創出し、ふくいの木の良さの普及啓発を実施	・県産材デスク 23台 ・県産材書棚等 2台	
市町支援	市町森林整備推進支援事業	702,687	702,687		市町職員に対し、効率的な事業化の推進等を図り、より実務的、実績的な課題を解決するため、専門家による研修会・相談会を開催	・研修会の開催 2回 ・相談会の開催 7回	
	林業DX推進対策事業	6,390,474	4,127,474	2,263,000	航空レーザ計測による森林資源情報や所有者情報等を一元化し、関係者が森林情報の共有・相互利用を図るために導入した森林クラウドシステムのデータ整備等を実施	・福井県森林クラウドシステムの運用、保守 ・森林簿、森林計画図のデータ適正化（1市町）	
基金積立		—	—				
合計		87,406,120	69,995,868	17,410,252			